

町のことが「自分ごと」になるとどうなるか ～自分が変わる そして町が変わる?!～

1. 日本では政治や行政、町のことや国のことは多くの人にとって「他人事」
2. そうやって「他人事」になると、こんな問題が起こる
(気づかないうちに、少しずつ)
 - 「他人事」とは政治家や公務員に任せっぱなしにすること
 - 任せっぱなしにすると、任せられた側は自分の都合で回していく
 - その結果
 - ・ 声の大きい人、利害関係者が優先される
 - ・ 住民の本当の要望が届かない
 - ・ 新しいことをしない。必要なくなったことを止めない
 - ・ 住民に良いことしか言わなくなる
 - ・ 以上のことは税金の無駄遣いに繋がる
3. みなさんは**たまたま**津山自分ごと化会議の委員に選ばれました。
その結果、何か変わったことはありますか。

(参考) みなさん同様、たまたま「自分ごと化会議」の委員になった
全国の仲間たちは・・・

無作為抽出での住民参加の現状

構想日本は無作為抽出での住民参加の取り組みを、

63自治体で**126回**実施してきた。

市民判定人方式の事業仕分け(2009年～) 48自治体で103回

住民協議会(2014年～) 15自治体で23回

- 行政主催: 福岡県大刀洗町(条例設置した町長諮問機関として5回実施)、太田市、鴨川市、湖西市、幕別町
- 議会主催: 岡山県新庄村
- 議会会派主催: 伊勢原市議会、恵庭市議会、杉並区議会
- 政府主催: 浜松市(内閣府主催による住民協議会、浜松市と構想日本が協力)
- 住民団体主催: 自分ごと化会議in松江実行委員会(島根県松江市)
- 計画策定に無作為抽出を活用(すべて行政主催): 茨城県行方市、千葉県富津市、香川県三木町、滋賀県高島市(地方創生の総合戦略策定や総合計画策定のために実施)

19.5万人に案内を送付し、**約8600人**が参加可能と返事。応募率は**約4.8%**(2019年3月末)

津山市は、今回の自分ごと化会議で、**1700人**に案内を送付し、**35人**が参加可能と返事。

応募率**約2.1%**。

参加者の声（意識や行動の変化）

1. 自分ごと化は学びに向かう！対話の深まりに向かう！すごい！！
2. この半年間、これほど自分のふるさとのことを考えたことはなかった。
3. 行政（市役所）が何をやっているのか考えるようになった。
4. 「誰が正しいか」ではなく、「どうしたら幸せと感じる生活ができるか」を考えることは素晴らしかった。
5. 市民と一緒に築こうとする取組に共感します。
6. 1人ひとりが大切にされている空間だった。
7. 市民がすごい！この力を活かした社会づくりに繋がりますように。
8. 学校への関わりが必要だと感じ、PTA会長の選挙に立候補、就任した。
9. 行政の仕事に関心を持ち、公務員採用試験を受験した。
10. 自分ごと化会議に参加したことで、心の病を患った自分の経験を活かせることもあると感じ、子育ての悩み相談に関するサークルを立ち上げた。

一つのテーマについて3～4回継続的に議論する自分ごと化会議では、「意識」だけでなく「行動」の変化が起きている。